



私のひとりごと

日本三大ガツカリ

私の仕事の一つに、全国各地で開催される工務店・ビルダー向けの講演活動がある。先日も建築コンサルティング会社から講演依頼が入った。「四万十へ行ってくれませんか？」との事。「え！四国の？」と聞き返すと、「そうです。」と言う。四万十と言えば、「日本最後の清流」として有名な四万十川があり、名水百選にも選ばれている。かねてからその清流を一度見てみたいと思っていたので、快く快諾した。四万十までの交通の便は決して良いとは言えない。まず、電車で伊丹空港まで行き、プロペラ機で高知空港まで。上空から見る四国は山林がほとんどで、建築用材に四国産が多いのにも納得できる。そして高知駅から二時間に一本の割合で出ている電車（特急）で、約二時間ほどかけ四万十に到着する。講演時間が午後二時からの為、前日からの出発を余儀なくされるのだ。

さて、この全国各地で行われる講演活動のなかで、私の楽しみの一つが「ご当地グルメの試食」である。高知と言えば”カツオのタタキ”が有名であるが、限られた予算の中での仕事の為、今回は950円のカツオのタタキ丼が最高のごちそうとなった（笑）。ただし、そこは産地を代表するご当地グルメ。このカツオのタタキ丼が抜群にうまい！皆様も高知にお越しの際は是非ご試食をおすすめします。

高知市で一泊し、翌朝、四万十川がある中村駅まで移動。幸運にも講演会場が四万十川のほとりである。中村駅から四万十川までは約3キロ。本来ならタクシーを使う所だが、あえて徒歩で向かうことにした。この移動に、名水百選にも選ばれた清流への期待の高さをお察し頂ければ幸いである。額に汗をにじませながら歩く事約20分。穏やかな坂を登り切った先には、憧れていた四万十川が広がる！「でか！〜」なんと広々とした大きな川である。でも何かが違う・・・！？。私のイメージする四万十川と言えば、透明な水を湛え、至る所に湧水が溢れ出す比較的小さな川である。

動揺する気持ちを抑え、100m以上もあると思われる四万十橋の中央まで行き、川をのぞき込むと、確かに水は綺麗ではあるが、橋脚の至る所にはゴミも引っかかっている・・・。近くを通った地元の方に尋ねると、「あなたが思っている川は上流に行かないと見れないよ」との事。

四万十川は、その全てが湧水の出る穏やかな川だと思い込んでいたのは、どうやら私の勘違いだったらしい。ここに来て、テレビの観光番組や駅前のポスターから受ける「イメージ戦略」のすごさを思い知らされる事になるうとは・・・。



さて、講演の仕事も無事終わり、高知市に着いたのは夜の8時を回っていた。なので、この日も高知市で一泊。翌朝、せっかく高知に来たのだから歌謡曲にも出てくる、”はりまや橋”を見に行こうと思い、通りすがりのおばちゃんに道を尋ねると、「あまり期待をしちゃダメだよ！日本三大ガツカリの一つだから。」と親切にもアドバイス付で教えてくれた。昨日の四万十川の一件もあり、過度の期待をしないよう、心の準備をして見に行くことにする。

さて、聞いた場所に到着したが、大きな交差点があるだけで、橋は見当たらない。おかしいなあ・・・と、あきらめて帰ろうとすると・・・。

あった！ありました！道路の隅っこに3mたらずのかわいらしい小さな橋が。おばちゃんのアドバイスのおかげで心の準備が出来ていたせいか、ガツカリすることもなく、むしろ、”はりまや橋”を見れた感激のほうが、大きかった。

そんなこんなで、今回は3日間にわたる講演の仕事を終えて帰路に着くこととなったが、人の心は微妙なものである・・・。期待をすればガツカリもするし、心の準備があれば、ガツカリすることさえ、感激にも変わる・・・この教訓をこの先どう生かそうか・・・。

ではまた来月もお会いしましょう。
今月も最後まで読んでいただき・・・

あーがしう
ございました!!

